

整形用器具器械 (58) 骨接合用及び骨手術用器具
一般医療機器 脊椎手術用器械 JMDN70963001

ラテラルインプラントホルダー

【禁忌・禁止】

本製品を曲げ、切削、打刻(刻印)等の二次的加工(改造)することは、折損等の原因となるので絶対に行わないこと。

【形状・構造等】

1.原材料

材料:ステンレス鋼

(ステンレス鋼には、クロム及びニッケルが含まれている。)

2.形状

本製品の形状は以下のとおり。



製品コード(JAN)	PartsNo.
4571201304113	JS07-017

【使用目的、効能・効果等】

本品は脊椎固定術等脊椎手術に用いる。本品は手動で用いる。また、再使用可能である。

【品目仕様等】

本品はインプラント及び種々の器具と組み合わせて使用する目的で設計されたものである。また、本品は再使用し、高圧蒸気滅菌に耐える設計となっている。

【操作方法又は使用方法等】

- 本品は椎体に設置したメドトロニック・ソファモア・ダネック(株)製インプラント間に矯正のための圧迫/伸展を行うためのものである。
- 各製品が正常に動作することを確認すること。
- 本品は未滅菌品であるので、使用に先立ち洗浄後に次の条件で高圧蒸気滅菌してから使用する。(滅菌方法については、滅菌装置製造元の使用説明書に従うこと。)

温 度	時 間
121℃	20 分
132℃	10 分

- 術者及び手術従事者は、使用前に手術に必要な機器類が揃っているかを確認すること。
- 術者及び手術従事者は、使用前、使用中、使用後において本品の正常性を確認すること。
- 患者の体質や解剖学的構造を考慮し、適切な組み合わせを選択すること。
- 使用する際には必ずメドトロニック・ソファモア・ダネック(株)製インプラント埋植手術に使用すること。また、傷をつけないこと。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- 併用するインプラントや器械の添付文書を必ず読んでから使用すること。
- 術者及び手術従事者は本品使用に際し、あらかじめ手術手技およびその手順、必要な器械について十分に熟知した後使用すること。
- 使用後は速やかに付着した血管、体液、組織等を除去し、感染防止のため洗浄・消毒を実施すること。
- 手術に先立ち必ず目視点検等を行い、錆び、磨耗、欠け、著しい傷等があった場合は、破損の恐れがあるため絶対に使用しないこと。
- 滅菌方法は、規定の運用設定で正しい滅菌器を使用すること。
- 塩素系、ヨウ素系の消毒液は、腐食の原因となるので、できるだけ使用を避けること。付着した場合は、水洗を行うこと。
- 強アルカリ性、強酸性の洗剤、消毒剤は腐食の原因となるため使用は避けること。金属たわし、クレンザー等は、器具の表面を損傷させるので使用しないこと。
- 電気メスを用いた接触凝固は、術者の感電、火傷を引き起こす危険性があり、器具の表面を損傷するので使用しないこと。
- 本品使用前に必ず操作方法又は【操作方法又は使用方法等】に示す滅菌方法及び滅菌条件で滅菌を行うこと。

但し、クロイツフェルト・ヤコブ病に罹患している、あるいはその疑いがある患者の手術を行った場合は、厚生労働省が医療機器の消毒法として挙げている以下の条件で滅菌すること。

●第一選択

方法・使用薬剤	温度	滅菌時間
3% SDS (ドデシル硫酸ナトリウム)	100℃	5 分

●第二選択

方法	温度	滅菌時間
高圧蒸気滅菌	132℃	1 時間

2.相互作用

併用禁忌・禁止(併用しないこと)

医療用具の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
本添付文書に記載された器具以外の器具	器具が正常に動作しなくなるおそれがある。	器具の変形、破損。

3.不具合・有害事象

本品の使用により起こり得る不具合・有害事象は以下のようなことがある。

- 重大な不具合
以下のような不具合が現れた場合は、使用を中止し適切な処置を行うこと。
1) 破損
- 重大な有害事象
以下のような有害事象が現れた場合は、症状に応じて適切な処置を行うこと。
1) 感染
2) 塞栓(脂肪、血液等)
3) 骨折
4) 過敏症
- その他の有害事象
以下のような有害事象が現れた場合は、症状に応じて適切な処置を行うこと。
1) 関節の亜脱臼又は脱臼
2) 関節部の一過性または永続性の神経損傷
3) 血管損傷

4.高齢者への使用

高齢者は、骨が骨粗鬆症化している場合があり、術中に過度の力を加えることにより骨折したり、インプラント設置後、緩み等が起きる可能性があるがあるので、慎重に使用すること。

【貯蔵方法及び有効期間等】

貯蔵方法:室温にて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 本品使用後は、洗浄、すすぎ等の汚染除去を行った後、【操作方法又は使用方法】欄に示す滅菌方法及び滅菌条件にて滅菌を行い、保管すること。
- (2) 隙間部に血塊等が残存しないよう、術中の使用毎にすすぎを行い、術後速やかに入念な洗浄を実施すること。必要に応じて、手洗いや、超音波洗浄器を含めた各種洗浄器の使用、各種中性洗剤を併用すること。
- (3) 壊れやすい部位に気をつけて、器械の機能を損なわないようにブラシ等で洗浄すること。器械にスライド機構等がある場合は、その部位を動かし体液や異物等を取り除くこと。また、ブラシが届かない細部形状のある器械は適切な酵素洗浄剤を使用し洗い流すこと。
- (4) 器械に付着した洗剤・消毒剤等は浄化水(ろ過、蒸留、脱イオン化等)で完全に洗い流すこと。
- (5) 最終洗浄後は、直ちに乾燥すること。
- (6) できるだけ、可動部に適切な水溶性潤滑剤を使用すること。

【包装】

1包装(人数はラベルに表示)

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元:株式会社 フジフレックス

住所:〒578-0935 大阪府東大阪市若江東町1丁目1番59号

電話:06-6721-7020